

特別会計決算の認定

● 取手駅西口都市整備事業特別会計決算：認定

〔討論〕

池田議員：今後の税収の減と民生費などの必要経費の増を考えると、必要最小限の事業を取捨選択して行っていくなければならぬ。西口の機械式自転車駐車場や歩行者デッキ（延伸）は不要であり、決算に賛成できない。今後は何が優先されるべきか取捨選択をしていただきたい。反対。

加増議員：市民の合意もなく進めてきた駅前開発、その財源は市民の税金。駅前の箱物建設に熱中するのではなく、身近な生活基盤整備こそ優先すべき。建設事業の入札に関わる疑いが指摘され、合併目的に合致しない合併特例債の活用等においても市民の願いからはほど遠い。反対。

入江議員：サイクルステーションとりでは、単なる駐輪場の役割を超えて駅前にあふさわしい品格ある施設となっており、景観形成の一役を担っている。またデッキ完成によって、西口の人々の流れが約1.5倍に増えたという調査結果。これらの事業によって活性化の兆しが見えてきた。賛成。

● 国民健康保険事業特別会計決算：認定

〔討論〕

結城議員：公共施設というのは、できてしまえばそれなりの効果は上がるが、維持管理費が必ずかかる。それに見合う効果を上げるためにも全体計画の中で総合的な管理が必要となる。素早い対応をしなければ持続可能なまちとならないことを指摘し、改善を求める意味で反対。

山野井議員：歩行者デッキ整備により、治助坂利用者のバリアフリーが図られた。サイクルステーションとりでの整備により、自転車通勤・通学者にとって利便性が向上し、ウエルネスプラザとともに駅前のシンボルとして20年もの間放置された駅前開発が前進。駅前活性化を期待し、賛成。

● 介護保険特別会計決算：認定

〔討論〕

税の引き下げ、独自の減免を実施すべき。反対。

加増議員：来年度は保険料改定の年だが、担当課は値上げはやむを得ないとの答弁。介護保険を安心して利用できるように、市は国に財政支援を求め、同時に市独自の介護制度の拡充を図り、高齢者等の負担軽減に力を尽くすべき。反対。

● 税条例の一部改正：原案可決

〔討論〕

鈴木議員：税金の安さや利便性により低所得者ほど軽自動車を購入している。国の言いなりでなく、上げ幅の小さい独自の条例案を検討すべき。反対。

平議員：軽自動車は事故に遭ったとき死ぬ確率が高いが、これまで生きてきたからもういいかと、お金を浮かすために悩んでいる人たちがみについている。反対。

市長提出議案

● 行政財産使用料徴収条例の一部改正：原案可決

〔討論〕

再生可能エネルギー利用促進のため公共施設等に太陽光発電設備を設置する場合の使用料を規定するもの。

池田議員：私は前回の議会一般質問の中で、エネルギー消費地から生産地への転換を訴えた。転換への第一歩。賛成。

染谷議員：太陽光発電を推進するということ意気込みを感じる。災害時における公共施設機能の強化、地域経済の活性化も図られる。賛成。

● 学校設置条例の一部改正：原案可決

〔討論〕

平成28年4月に統合する白山西小学校・稲小小学校の統合校の名称を「取手西小学校」にするもの。

鈴木議員：何度も話し合いを持たれてこの校名に決めたという地元の声も聞くが、そもそも地元や子どもたちから出た話ではなく、無理な統合に伴うもの。安易に統合すべきではないという観点で、反対。

川又議員：私はこの統合に反対してきたが、このまま反対し続けても子どものためにならないという地域の意見が届けられた。取手「西小」ということであれば今までどおり地域の学校として支援していける。賛成。

平議員：川又議員が言ったように、私の場合も非常に複雑な気持ちで賛成に回る。国の問題だったら反対するが、市の問題で非常に責任があること。賛成。



市道0130号線から佐貫駅方面を望む（進路の左手が龍ヶ崎市）

● 市道0130号線の区域外設置：原案可決

〔討論〕

同市道の改良工事に伴い、道路の一部が龍ヶ崎市となるので、道路設置の協議を行うために議会の議決を求めるもの。

市村議員：住民以外の方々も多く通行する道路。安全に配慮した生活道路を市で推進してほしい。賛成。

遠山議員：歩道設置の長年の地域要望がいよいよ実現する。こうした市民に身近な生活道路の改善に取り組むべき。賛成。

